

6T4T

Handwritten mark resembling a stylized '7' or 'フ'.

二二五 受信一六〇四七 譯丁一六二三 電一二〇五八

作概 ○

緊急



二二戰隊哨戒部隊

機密第二五一五一一四番電

26. 2. 26

發 哨戒部隊指揮官

當隊機密第二五一二五七番電取消

ルソン丸第三八號子丸ハ歸投セヨ。

通一三八九一 天三B (六四九〇KC) 二二戰隊P 大澤 (秋 葉)

1720

1720

二二五 受信一八四三五 譯了二九四五 電一二二〇九一〇 作概

作戰緊急

編 木更津空基地

神ノ池空基地

編 大海參一部・聯合艦隊口・横 鎮

機密第二五一五三一番電 二分ノ二〇

20. 2. 26

第三航空艦隊司令長官

七二二空戰團概報第一號 (二月二十五日)

一、第一次〇八三三S B二〇十機 第二次一一五五F六F一八機

第三次一二二五F六F銃爆擊修理中ノ一式陸攻二機炎上同一機及

霧花練習機四機被彈大破格納庫一棟大破炎上人員異狀ナシ

戦果ナシ

三、其ノ他基地附近通過セル敵機〇九〇〇一四〇機(戦六四機五〇

一北上 一〇〇〇戰機三九機南下 一〇三五大編隊雲上南東下

編一三九四五・一三九六三 口一Bケ四(三九一五機)神池空

山内・反本

三所見

無防備ニ等シキ當基地ノ防空及消火施設特急ニテ完備ノ要切ナル
 モノアリト認ム(二十日供給ノ命アリタル二十五耗機銃直ニ受取
 人派遣タルモ現物ナク空シク時投在リ)

4

成

通一四〇〇四

呂一(B)(B)(G)F口

渡邊(土屋)



三三根
南西方面艦隊口

機密第二五二五五〇番電

二二五受信二二七二六〇六
講了二二二三五 電一二二三一
作概

發 G F 參謀長

昨年末以來貴方面ニ於テ活躍セル申標的ニ對シ感狀授與詮議セラ
ルルニ就キ左ニ依リ資料取纏電報アリ度

- (一) 攻鑿日時 (二) 標的番號 (三) 指揮官官氏名 (四) 攻鑿目標
- (五) 戰果 (六) 參事項。

20. 2. 26

二二五 話受一九〇〇

電一二一〇一

航艦作艦
本政

至 急



東京通信隊



吳鎮參謀長

機密電話第二五一五五九番

宛發 參謀長 大海參 一部長 G F 參謀長

通報 航本總務部長 艦本總務部長

最近吳軍港ニハ空母戰艦其ノ他約八〇隻入泊シツツアリテ當分出港ノ豫定ナシ一昨日モ亦マリアナ基地日一二九 一機吳軍港ヲ偵察セリ敵ハ近ク當軍港ニ大舉來襲必至ト認メラルル處三三二空阪神方面派遣ニ依リ本府防空戰闘機皆無ニシテ極メテ不安ナリ尙敵大型機ハ燃彈補給上支那方面ヨリスル本土空襲ハ極メテ困難ナルヲ以テ同方面兵力ヲマリアナ方面ニ集中セシ感アリ吳ハマリアナ基地ヨリ東京大阪ト畧同距

通一三九八二

B

野口(松山)(1)

離ニアルヲ以テ今後大型機ニ依ル空襲ハ北西部九州ヨリ熾烈トナル事
ヲ豫想セラルルヲ以テ阪神方面戦闘機ハ他方面ヨリ之ヲ派遣シ三三二
空ハ速ニ本府ニ復歸セシムル様取計ハレ度

二 二二五 受信二三四八 譯了二二二〇 電一二一八三 作 稿
 二六五 譯始〇一三〇

緊急



● 聯合空襲部隊戦闘概報着信艦所
 ● 三〇根

● ヤツブ航空基地

機密第二五一六四五番電

二十五日戦闘概報

一〇九四五一〇九(脱)F四〇一 一機二四〇度ヨリ大艇一機三〇
 〇度ヨリ「マツブ」島銃爆撃後共ニ二四〇度ニ去ル一二〇〇一
 一五 F B F I 一 二機一八〇度ヨリ飛來海上ヲ飛行後九〇度ニ去ル
 其ノ他視界内飛翔ダグラス一機東行
 三 戦果 被害ナシ。

通一四一一六 呂一Bラ十(四四九七五KC) 四通 富田(森田)

20. 2. 26

39/

二二五 受信一九四九 譯了一九四七 電一二〇八八

緊急



第七潜水部隊(先遣部隊)

六艦隊P。横鎖。横防戦。二二戦隊。九〇三空

機密第二五一六一五番電

七SSB指揮官

一停三七一潛入... 隨投豫定... 報告...

三管方面綜合情報

(1) 二十四日一二三〇頃敵機動部隊(戰艦空母各三其ノ他)北緯三

一度東經一四五度 二十五日〇六〇〇一〇三〇艦載機一四〇

〇一六〇〇B二九 一五〇及艦載機來襲ス

(2) 夜間B1二九 一機程度二〇三〇一二二〇頃來襲スルヲ常ト

通一三九七七 口一五分四(B)七SSB 山下(鈴三)

△航作部本概〇

20. 2. 26

緊
二
二五
急

受信
〇〇三〇〇五

譯了
〇〇五〇
電一二二五三

航作概
本〇



◎

◎

九〇三航空隊總派遣隊

◎ 九〇三航空隊

▽

海護總口。三海上護衛隊。横領

機密第二五一七一七番電

電令作第 二七號

一、敵機動部隊依然房總半島近距離ヲ游ぐ中目下ノ狀況ニモ鑑ミ各隊不
時ノ敵襲ニ備フベシ

二、明二十六日各隊左ニ依リ偵察觸接ノ準備爲シ置クベシ 本隊艦攻二
臨攻二零偵二串本零偵三、八丈艦攻二兩餘ノ各隊特命ス。

通一四〇八八

呂一〇ケ四

(B) 繕通

黒田(松山)

20. 2. 26

9

二二六 受信開始 〇〇二四七 譯了 〇四〇〇〇 電一 二二〇七 疎訊

① 一 一 聯空ト

② 横領・三航空艦隊ト
③ 海軍省・聯合艦隊ト

機密第二五一七三〇番電

二分ノ一

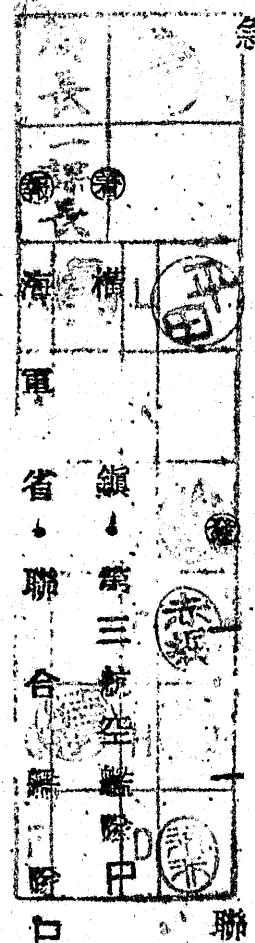
20. 2. 29

本日土浦市附近ニ不時着セル百四U搭乗員ノ自白押収兵器ノ調査
狀況左ノ通

- 一 搭乗員ハ中尉「ドナルドカノナン」二三歳
- 二 發艦位置北緯三三度東經一四三度
- 三 航法圖板ニ記入セル母艦名ハ呼田行艦「エセツクス」(ボブキヤトバンカーヒル)「タイガー」(コーペンズ)「コツカー」(ワスブ「イエダ」)

④ 通信課註、本電本電(二未着) 須賃 敵高(敵出)

二二六 受信開始 〇〇三二六 〇六〇五 〇七一一〇五五 電一二三七一 聯訊



機密 二五一一七三〇番電 二分ノ二

ヨークタウン（コブラ）レキシントン（デラレザル）

四行動ノ概要「ウルシー」ニテ編成ス

二月十日出港演習ヲ實施シツツ北上前回（硫黄島）一〇〇哩迄接近

タルモ戦闘ニ参加トズ二十三日本空襲ノ命ヲ受ク

五本人ノ視認タル兵力空母一六隻（四群ニ分ル）戦艦二隻巡洋艦四隻

駆逐艦一五隻

六其ノ他飛行機小修理ニ依リ飛行可能ノ見込搭乗員ハ憲兵ニ引渡ノ上

東京ニ送致ス。一電信調計 本電二分ノ一既配布

清一四一九五 四一Bケ四（B）横須賀 桑野（木下）

20. 2. 27.

A

二二六 受信開始 〇〇一〇三〇〇 譯了 〇二二五 電一 二一八七 航作 本概 〇

緊急



● 新竹、臺中、臺南、高雄、東港各航空基地
● 小崗山司令部
● 木更津、厚木各航空基地。一三航空艦隊口。九〇一空

機密第二五二〇四七番電

發 一ムコ參謀長

本二十五日一八二〇薄暮訓練中ノ銀河一機臺中基地上空ニ於テP I
四七 四ノ奇襲ヲ受ケ自爆セリ少クトモ期間中ハ今後共ニ此ノ種ノ
敵ノ行動ニ對シテ嚴重注意指導アリ度。

通一四一三五 呂一Bラ十八() 五FGB 坂岡(森田)

20. 2. 26

作

二二六 受信一四四
 譯始一二〇六
 譯了二二五五
 電一二四八四
 電一二三五八
 作 概

● 第一護衛艦隊口・九三六、九〇一各航空隊
 ● カムラン航空基地
 ● 海上護衛總口・一 一 根

機密第二五二一四二番電 二分ノ二二

戰術概報第三九號 (二十五日)

二一三〇P一三八十一機來襲對潛攻撃準備中ノ水偵一機「カツト
 ライ」ヨリ歸着直後ノ水偵二機一昨日不時着カムラン基地へ曳航中
 ノ水偵一機計四機銃撃ヲ受ケ炎上水戦二機直ニ激撃セルモ空戦ニ依
 リ自爆 (渡邊少尉) 戦死松浦二飛曹落下傘降下輕傷) ムル爲現在保有
 (實動可能機數) 水偵三 (二) 水戦一 (〇)。

通 一四四一三 天一Bケ四 (三七二一) 佐通 野村・東野 (木下)
 一四三八八

20. 2. 27

二二六 受信開始 〇〇三二一 〇 譯了 〇六一〇 電一二二四一 航作 本概 〇

緊急

小 崗 山 司 令 部



- 第五基地航空部隊
- 第五航空艦隊P。高 警

機密第一二五二三四五番電

五FGB電令第一號

- 一、零戰隊ハ明二十六日零戰十六機ヲ以テ侍從武官搭乗機高雄基地着時刻（追テ通知）一時間前ヨリ台中高雄間制空ニ任スベシ
- 二、侍從武官搭乗機鹿屋ヲ出發セシ場合ハ台中附近ニ於テ指揮官所定ニ依リ薄暮敵機嚴重警戒ヲ實施スベシ。

（京通註 誤字多キ爲メ遅延。）

通一四一五六 呂一B（四七四二五C）五FGB 岩佐（雨谷）

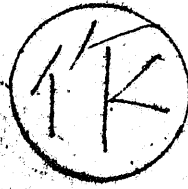
20. 2. 26

二 二六 受信 〇〇八七五〇〇 譯了 〇八四五 電一二二九三 作 〇

作戰特別緊急

母島警備隊

20. 2. 26



共

符

機密第二六〇五四〇番電

母島ノ一八〇度二〇〇軒附近ニ敵空母一群アリ 〇五三〇敵ハ我方ノ銃
島ニ對スル防戦先制攻撃ノ報 復 爆撃ヲ配慮 〇四〇〇頃ヨリ各方面ヲ
飛行哨戒シツツアリ。

通一四二五九

於一四八(B)横通

日高(金森)

人

作

譯二二六 受信一九二四〇〇 譯一九四五 電一二六三六 作
〇概

第一五根

二海防隊卜・一〇通。一八海防艦。九驅潛艇

通報標示 海上護衛總口

機密第二六〇六〇一 番電

20. 2. 27



通報 (一符字脱) KEQ 西方面司令

驅潛ハ十五 A B G 電令作第四五號ニ基キ目下「マラツカ」海面敵

潛掃蕩ニ任ジツツアリ第一海上護衛隊西方面機密第二五二二〇〇番

電ニ依ル船團護衛協力ニ關シテハ何等ノ命令ヲ受領シ非ズ

敵潛出現ノ狀況ニ鑑ミ現任務ヲ續行ヒシメ度キ希望ナルモ何分ノ指

示ヲ乞フ。

通一四六三四 於一四 (B) 佐世保 清水 (敵 村)

二二六 受信一八五四 譯始二〇一〇
至・急 譯了二三二〇〇 電二二六〇六 作機〇

476

南東方面部隊戦闘概報着信處所

機密第二六〇七〇八番電

20. 2. 27

R.N.方面部隊戦闘概報第八〇號(二月二十五日)

一〇七〇〇一六〇二F四U二機計八機RO並ニ西方島嶼ヲ銃爆撃一
九三五一二〇三〇中型機二機二二五五一二三四七 四機二三五五
〇一一〇小型機二機燒夷彈投下〇五一〇一〇六五〇B一三四機
(二符字受脱)一中型機一〇機(マクレン)爆撃中型機〇七三八
九機〇九一八 一二機南東進一三四六B二五 三機一六五〇B三四
一〇二二一〇中型飛行機一機北西進

ニ戰果被害ナシ。

通一四六二四 呂二B(四九四五KC)八通放 明比(土谷)

人

二二六 受信一一四三七 譯了二二〇八 電一二三九四 整施

作戰緊急

● 木更津航空基地

● 神ノ池航空基地



● 橋 鎮

機密第二六〇八二四番電

20. 2. 27

發 七二二空司令

宛 三A F 參謀

當基地施設極メテ貧弱ニシテ二十二日ノ降雪ニ依リ三日間電燈電話
水_下等一切不通ニナリタル狀況ニ鑑ミ昨日來ノ吹雪ノ爲當分ノ間
通信連絡交通等極メテ不自由トナリ場合ニ依リテハ一時徒歩ニ依ル
ノ外連絡ノ方途ナキニ立至ルヤモ知レズ豫メ含ミ置カレ度

通一四四二五、オ一四(三九一五K) 神ノ池航空基地

清野(渡瀬)

作

二二六
二二七

受信二二二五
開始〇〇〇五

譯了〇二一五 電一二七一 二 作 概

● 共 符

● 南東方面部隊戦闘概報着信送所

機密第二六〇八四二番電

20. 2. 27

RXC警備部隊戦闘概報第二五號（二月二十三日二月二十四日）
 二十三日〇五〇七「ソラケン」方面〇六〇〇「QBH」東口「QB」
 側各戦闘機二機偵察二十四日〇六〇七戦闘機二機「ソラケン」方面統
 爆撃〇八〇〇艦爆一第二飛行場及「ソラケン」方面統爆撃一〇三〇戰
 闘機二機「シード」爆撃戦闘概報二四號に追加二十一日戦闘概報第二
 二號二十二日「ベタツ」島偵察ノ為「カブネ」ヨリ下士官ヲ長トスル
 一箇分隊同日二二〇〇頃同島上陸射撃ヲ受ケ之ト交戦艦隊セリ敵揚陸
 兵力約七〇名ト推定目下偵察續行中。

通一四七一八 呂二Bラ十一（四九四五）八通放 日下（横田

人

二二受信一九〇五 譯丁二〇五〇 電一二五八七 作概

緊急

作

第三二根戰團概報着信機所

● 二二根▽ 二二根▽ 二二根▽

機密第二六〇九二三番電

三二KB 戰團概報第五一號 (二月二十五日)

一〇四五B 一機 一二三七B 一機 三機南下銃爆擊

ヲ行ハズ 戰果被害ナシ

ニバタ島見張所ハ本島島ニ轉進ヒリ

通一四六三五 呂一Bラ十八(七八五五K) 三二通 田村(來)

20. 2. 27

二二二六 受信 一三三〇七
開始 一三二五

譯了 一四〇〇 電 一四三六

作機部 艦政
部 航本

● 總無線燈所用共通符號

● 東通。佐通

機密 第二六一〇五四番電

發 沖繩根據地隊司令官

宛 佐領司令長官

通報聯合艦隊參謀長。第五航空艦隊參謀長 大 海參一部長
南西諸島航空隊司令

20. 2. 27

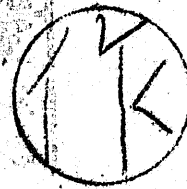
佐領電令第一號 第一項 戰備中 沖繩島ノ分左ノ通り
二月末完成豫定

- (イ) 糸滿命令通り
- (ロ) 沖繩中陸軍ノモノヲ利用スルモノトシテ 小型一五〇機分 大型一四機分
- (ハ) 大型用ハアト當分見込ナシ
- (ニ) 沖繩北〇

（東通註 G P ロ ッ ラ 濟）

通 一四四五〇 呂 二 B (B) 佐 通 山 崎 (土 谷)

二二六 受信一四四二 譯始一五一〇 譯了一六〇〇 電一二五三〇 作 織〇



第一機動基地航空部隊作戰命令着信鑑所

鹿屋航空基地

機密第二六一一四七番電

20. 2. 27

一 K F G B 信電令作第四號

一 本二十六日八〇一部隊ハ左ノ外指揮官所定ニ依リ〇區夜間哨戒ヲ

實施スベシ

(イ) 哨戒範圍八〇度ヨリ 度ノ間四〇〇哩

(ロ) 先端到達時刻〇〇〇〇

二 明二十七日七六二部隊ハ左ニ依リ〇區晝間哨戒ヲ實施スベシ

(イ) 第二哨戒配備

(ロ) 哨戒範圍〇二二ヨリ〇三一迄計五機

(ハ) 進出距離〇二三〇二五〇二七 五五〇哩其ノ他六五〇哩。

通一四五〇九 呂一B (七六〇五K) 鹿屋航空基地 淺沼(雨谷)

K

二二六 開始一五四〇五 歸了一五四五 電一二四六八 航作 本概 〇

至 急 鹿屋航空基地 木更津航空基地



大原海軍一部 航空本部 聯合艦隊 館山航空基地

機密第二六一二〇八番電

發 第三航空艦隊參謀長

第四次ノ激戰戰國ニ依ル戰國第三一飛行隊ハ器材搭乗員共ニ消耗シ
ツアリ速ニ九州方面ニ移動セシムルヲ得策ト認ムルヲ以テ左ニ依リ
移動セシメ度御了承ヲ得度 飛行隊(一二機)三月一日頃出發其ノ他
速ニ陸行ス

通一四五〇七 呂一Bケ四 (B) 木更津 日下(久保田)

20. 2. 27

人

二二六

受信一四四七〇

譯了一五〇八 電一二四七六

航作 本概〇

作戰緊急

母島

警



總無線艦所用共通符號

機密第二六一二四五番電

20. 2. 27

發 母島警備隊司令

我本土空襲ノ敵機動部隊ハ母島ノ三〇度一〇〇軒附近ヲ南下シツツアルモノノ如ク敵ノ對潛對空哨戒機ハ敵ノ前程ヲ二線配備ニテ哨戒シツツ漸次南下中
天候半晴雲量五雲高三千米東方海面視界一五哩西方海面視界八哩海上稍「ガス」アリ。

暹一四五四七 於一四(一〇二〇〇K)父進 長尾(福田)

二二六 受信一六五〇

電一二九二二 作櫛

至急

共

符



梅

部

隊



大 巨・聯合艦隊
長・南號部隊

機密第二六一二五七番電

20. 2. 28

發 GEB司令長官

今ヤ重要船團陸續南支那海ヲ北上シ南號作戰ト共ニ梅作戰愈高潮ニ
達セントスルノ秋各員克ク幾多困難ヲ克服シ勇戰奮闘シアルハ本職
ノ深ク多最近南支那海方面ニ於テハ特ニ敵潛敵機ノ跳梁甚シク戰闘
ハ熾烈困^難ヲ加ヘツツアルモ各員ハ更メテ本作戦ノ重要性ヲ想起シ
倍友軍トノ協同ヲ密ニシ緊忍敢闘以テ重責ヲ完ウセンコトヲ期スベ
シ。

通三四七五 天二B

(塩田)

二二七 受信〇九一五 譯了二三三〇 電一二八五六 作 概
譯始〇九四〇



● 一二根戰區概報着信艦所？

● 一二根 P

機密第三六一三二〇番電

20. 2. 28

二五B戰區概報 二月二十六日

一、一三〇〇〇迄B一二四 三六機ヲケ編隊ニテ逐次バリツ
クババン第一第二飛行場ニ來襲投彈零戰發進地上砲火ト協力之ヲ擊
退

六戰果擊破二機

三被害第一第二飛行場被彈目下調査中

通一四八八一 協作（一八三六七五KG）二十一通

目黒（久保田）



二二六

受信開始 一五〇〇

譯了一五四〇 電一二四七八

航作本概〇

緊急

總無線艦所用共通符號



第三航空艦隊 横通

聯合艦隊 東通

機密第二六一三三八番電

20. 2. 27

發 父根司令官

宛 横領參謀長

通報 大海參一部長

一二八ヨリ敵驅逐艦一隻父島東方一〇軒内外ノ海面ヲ游弋中ニシテ
其ノ上空ニ至六回數機常時哨戒シアリ右ハ今朝墜墜セルトモ搭乗員
（今朝洋舟ニテ三名漂流中ヲ認ム）救助ノ目的ナルモノノ如キモ一部
強行偵察ノ意圖ヲ有スルヲモ知レズ。

通一四五一四 月一〇ケ四（一〇二〇〇） 目黒（木 下）



作戦緊急

二二六 受信一六三〇七

譯了一六五五

電一三五四一

航作本概〇

鹿屋航空基地

一機動基地航空部隊作戦命令着信場所

機動二六一四五〇番電 一分ノ二

一KFR信電令作第 六五號

一〇九五〇地點ヘソータニ於テ水上機母艦ラシキモノ一巡洋艦二驅逐

艦三針路南西速力一八節ヲ發見ヨリ敵ノ企圖不明ナルモ明日九州方

面嚴重警戒ノ要アリ

通一四四五五五四一

呂一Bケ四(七六〇五K)鹿屋空基地 加藤(木下)

20. 2. 27

三一 K F G B ハ今夜 Q 區夜間暗戒ヲ行好機來襲敵機動部隊ヲ捕捉擊滅
 滅シントス各隊ハ左ニ依リ作戰スベシ

(イ) 七六二部隊攻撃隊二四〇〇以後攻撃一五分待機

(ロ) 八〇一部隊二二〇〇以後索敵接觸一五分待機

三 明 二 十 七 日 〇 五 三 〇 以 後 第 一 警 戒 配 備

作戰緊急

二二六

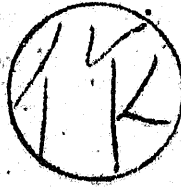
受信一六一〇
開始一六四五

譯了一六五三

電一二五一〇

作 概〇

母島警備隊



總無線艦所用共通符號

機密第二六一五二五番電

母島警備隊機密第二六一二四五番電關聯

前電中敵機動部隊ト判斷電報セシハ敵哨戒驅逐艦ニシテグラマンニ

機ニテ哨戒中依然母島周邊ヲ遊弋シツツアリ

20. 2. 27

通一四五七四 於十四(一〇二〇〇KC)父通 望月(雨 谷)

二二七

受信開始 〇〇三三〇〇

終了 〇三三〇

電一 二六七四
電一 二六七九
電一 二七六五

作 概

至 急

高雄 警備 府

東京通信隊・聯合艦隊



一航空艦隊 支那方面艦隊 二遣支艦隊
海上護衛總司令部 海南警備府 佐鎮 沖繩根
臺南航空隊

機密第二六一六一二番 三分ノ二二三

20. 2. 28

二月二十五日敵機來襲狀況

一〇九一〇頃 B-125 一機 變鼻南東海面ヨリ侵入安平附近ヨリ澎湖島

兩方海面搜索セルモノノ如シ 〇九五〇頃西方ニ脱去セリ

二 B-124 一機 H-〇九三〇頃 變鼻附近ヨリ東海岸ヲ北上淡水附近 (偵

察一後一一一六頃北方變鼻ニ脱去セリ

浦一四七七一五

一四七一九

呂一 B ラ十八

(四五七三五 KC
九一四五 KC)

高二放

淺沼・田原 (角田)

(一)

三P I 五一・一五機ハ一〇五九頃臺東地區ニ侵入一二〇九頃臺東東方海上

ニ脱去セリ 戦果被害ナシ

四P I 五一約二〇機P 四八 八機ハ一一〇〇頃鷺鼻附近ヨリ侵入鷺鼻

真見張所ト交戦一二〇〇頃南方ニ脱去セリ 戦果P I 五一 二機撃墜

兵一名負傷

五(イ)一三四五頃ヨリB I 二四約五〇 P I 三八 六P I 四七 二十數機數

群ニ分レ鷺鼻南方ヨリ臺南部及中部地區ニ侵入銃爆撃後一五四〇頃

逐次南方ニ脱去セリ

(ロ) 戦果ナシ

(ハ) 被害日本アルミ工場電線 半 本イライ室半 高雄製鐵假裝溶鑛爐

二シユ床三全 附屬機械若干ノ被害アリ埋没者約二〇名其ノ他負傷

者若干アル見込

六一八二〇頃P I 四七四臺中地區ニ侵入薄暮訓練中ノ銀河一機ト交戦後高

津附近ヲ南下脱去セリ戦果ナシ被害銀河一機自爆。

(ニ)